

教師用発問サポート資料

1 使用するプリント コク×スク レベル 1-3 引用の仕方について理解する

2 単元の目標

(1) 引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、正しく使用することができる。

[知識及び技能] (2)イ

(2) 自分の考えが明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。
[思考力, 判断力, 表現力等] B 書くこと (1)イ

3 学習の流れ

【①導入】日常生活で引用や出典を示すことには、どんな利点があるかを考える。



まずは、Aさんが書いた文章を読んでみてください（生徒のモデルケース「引用や出典がないもの」を見せて、内容を把握させる）。次に、同じ内容の文章ですが、引用や出典が載っている文を読んでみてください（生徒のモデルケース「引用や出典があるもの」を見せて、内容を把握させる）。引用や出典を示すことの利点は何だと思いますか？



自分の意見の信頼性が増すと思います。



そうですね。正しく引用することには、自分の意見の信頼性が増すという利点があります。本時の目標は、正しい引用や出典の書き方が分かるようになることです。

※生徒のモデルケース（参考例） 赤字部分の有無で印象がどのように変わるかを発問してもよい。

みなさんには人からほめられた経験はあるだろうか。私は人からほめられて嬉しくなったり、勇気が湧いてきたりしたことがある。**(2018年にIKEAが公開した動画では)**植物に水をあげるとき、ほめ言葉をかけた場合と、悪口などのネガティブな言葉をかけた場合では、ほめたときの方が植物はよく成長し、逆にネガティブな言葉をかけた場合は早くしおれてしまった**(という実験結果が報告されている)**。植物の事例からもわかるように、ほめ言葉には言葉をかけた対象を成長させる力があるのではないだろうか。

(参考:「Bully A Plant: Say No To Bullying」https://youtu.be/Yx6UgfQreYY?si=DxWomINVihJE_aP8)

【②展開】個人で問題を解く（15分程度）。その後、全員で答え合わせを行う。

★10分ほどが経過したら、立ち歩いて話し合ったり、わからない部分を話し合ったりするよう助言する。

★考え方がわからない生徒には挙手をさせ、適宜助言を行う。

★問題を解く前に、「先生のアドバイス」を読み、引用や出典を書くときのルールをクラス全員で確認してもよい。

〈問1 助言の参考〉



引用している部分は、「引用したいと考えている本の一節」のどこからどこまでですか。

「相手の気持ち～言える。」までです。



では「先生のアドバイス」どおりに書かれているか、確認してみましょう。



教師用発問サポート資料

〈問2 助言の参考〉



出典を示すときに書くべき項目は何でしょうか？ 「先生のアドバイス」を確認してみましょう。四つの項目（●）について正しく記載されているか、確認してみてください。

〈問3 助言の参考〉



タツヤの文章のテーマは「コミュニケーションに対して心がけたいこと」ですね。それを意識したうえで、タツヤの文章を読んでみましょう。テーマに対するタツヤの考えをはっきりさせるためには、どのような内容を付け足すと良いでしょうか。

【③まとめ】 今日学習した内容を振り返る。



今日の学習では、引用や出典の書き方について学びました。この知識・技能はどのような場面で活用できると感じましたか。

レポートを書くとき。

感想文や意見文を書くとき。

プレゼンをするときにも使えるんじゃないかな。



そうですね。引用や出典はレポートや感想文、プレゼンなど様々な場面で活用することができます。また、正しい引用は自分の意見を補強することにもつながります。今日学習したことを今後も使えるように覚えておきましょう。

4 指導のポイント

○【②展開】の後に、実際の本のページや奥付を用意しておき、引用や出典を書いてみてもよい。

5 ほかに考えられる使用方法

○引用や出典の書き方を教え、実際に図書室の本などを使用して引用や出典を行かせたあとで、理解度の確認のために「コク×スク レベル 1-3」を使用する。

心に響いた部分を引用し、自分がオススメしたい本の紹介文を書く

……ビブリオバトルの要領でオススメする本の紹介文を書き、チャンプ本を決める。

〔知識及び技能〕

正しく引用、出典が書かれているかをお互いチェックしあう。

〔思考力・判断力・表現力等〕

紹介文を書いた後は、クラスの中で紹介文を批評し合い、どの紹介文が一番魅力的だったかを評価する。